

夏を快適に

近隣騒音、空き缶問題

家にいるときはピアノやクーラーの音に悩まされ、行楽地に出かければ、いたるところ空き缶だらけ——これでは夏も「台無し」。

夏を快適に過ごす——生活公害といわれる近隣騒音と空き缶の投げ捨てについて考えてみました。

あなたのマナーで

騒音防止

夏の夜、暑くてなかなか寝つかれないところに、隣から聞こえるクーラーの音、近所のスナックのカラオケの騒音が、イライラ感をますます増幅させる——夏は、近隣騒音の問題が、いっそう深刻になる時期です。

クーラー、カラオケ、ピアノなど、日常の暮らしからでる音は、隣近所という、身近な人間関係に複雑な問題を投げかけることがあるだけに、お互いに気をつけたいものです。

大切なことは、だれもが近隣騒音の被害者になると同時に加害者にもなりうる、という自覚を持つ



△ピアノ▽
時間帯や音の大きさに注意を

快いはずのピアノの音も、勉強している人や病気の人の人にとっては迷惑になることがあります。ピアノを弾くときは、次のような点に気をつけましょう。

★できるだけ音が外にもれないように、置き場所や向きを考えましょう。

★時間帯に気をつけ、窓を閉めて弾くようにしましょう。

★弱音ペダルを使ったり、調律師に音を調整してもらうのも一案です。

△クーラー▽
設置場所を気をつけよう

夏になると、特に苦情の多くなる近隣騒音がクーラーです。メーカー側でも技術開発によって音を小さくする努力をしていますが、わたしたちも隣近所の迷惑にならないように、次の点に気をつけま

しよう。

★購入するときは、販売店や工事店とよく相談し、できるだけ音の小さいものを選びましょう。

★設置するときは、吹き出し口の方向を工夫したり、必要ならばコンクリートブロックで防音用の塀を設けたりしましょう。設置後も、音で隣近所に迷惑をかけていないかどうかを確かめる配慮が必要です。

なお、健康や省エネルギーの上からも、少なくとも睡眠中はスイッチを切るようにしましょう。

隣近所に心くばりを

あなたにとって快適な音も御近所の人には単なる騒音音楽ファンにとっては心地よいピアノの音色も、関心のない人や関心はあるけど仕事とか睡眠中の人にとっては、迷惑な騒音にすぎないことがあります。

快適な音か、騒音か——時と場合によって、また、聞く人の主観的・心理的な要素がからんで、いちがいに言えない面があります。お互い、騒音の発生源にならないよう、隣近所に対しての心くばりを忘れないようにしましょう。

かつて東京の下町では、クギを打つときなど、近所に「おやかましゅう」と声をかける習慣があったといえます。お互いが静かで住みよい環境をつくるための、基本的なマナーだったのですね。

近所付き合いといえば、ふだんから気軽に「ちよつとうるさいわ



よ」と言えるような関係を保っておくことも大切です。そうすれば、何か問題が生じた場合、相手にも言いやすいし、聞く側もトゲトゲしくならず、謙虚な気持ちで相手の立場を考慮することができるでしょう。

当事者間で解決がつかないときは、町内会や部落会などの場を借りて、話し合いや対策を提案してみるのが一つの方法です。みんなで考えるとよい知恵も生まれ、また、穏やかな話し合いができるでしょう。

